

## 各セクションの報告・情報

## THE 現場

## たまり場ばれっと

ちいきこうりゅう  
～地域交流イベント

わんさか渋谷まつり 開催報告～

6/14(日)リフレッシュ氷川にて、地域の  
方達と楽しみながら交流し、ばれっとのこ  
とを知ってもらうことを目的に「わんさか  
渋谷まつり」を開催しました。当日は、様々  
な体験ブース、模擬店、スタンプラリー、  
ライブ、ゲーム大会と盛り沢山の1日でした。

## ●おもしろ体験ブース

10時半からスタートした体験では、「書道  
でうちわ作り」「書道で名刺作り」「ヘア  
メイク」「アクセサリー作り」「石鹸作り」  
「茶道体験」などが並びました。スタートと  
同時にこのブースも大賑わい!

## ●ステージでのパフォーマンス

最初のステージは、ギターと三味線のラ  
イブと、中国楽器「二胡」の演奏。リズム  
に乗った楽しい曲に、ステージ前で曲に  
合わせて踊りだす参加者も!その後、悪役  
にやられそうなサスケを助けるために、皆  
で悪役に向かって手裏剣を投げる、参加者  
参加型の忍者ショーや、瞬きするのも忘れ  
そうになるほど激しくパワフルなダンスを  
披露してくれた広尾高校ダンス部が続き、  
最後はゴスペル。大迫力の歌声に、見てい  
た参加者も皆、ステージに上がって大合唱  
!素晴らしいステージのフィナーレを飾っ  
てくださいました。

## ●交流プログラム

子どもに人気だったのが、「劇団Lite」の  
皆さんが協力してくれたスタンプラリ  
ー。会場内にいる4人の忍者を見つけて、  
それぞれ「なぞなぞ」「じゃんけん」「クイズ」  
「あっちむいてほい」でバトルし、シールを  
集めて景品をゲットするというもの。そし

て、イベント最後の締めくくりとして行な  
われた「駄菓子すくい競争」では、参加者  
、ボランティア、出演者が一緒になって行  
なわれ、白熱した時間になりました。

## ●最後に

実行委員をはじめ、多くの方々が楽しみ  
ながら関わって下さったおかげで、たくさ  
んの出会いと笑顔あふれる素晴らしい1日  
となりました。ありがとうございました。

～協力者の皆様～

## 【体験ブース】

\*実践女子大学書道部：書道で名刺作り  
\*聖心女子大学かな書道愛好会：書道でう  
ちわ作り

\*聖心女子大学茶道愛好会：茶道体験  
\*国際文化理容美容専門学校：ヘアメイク

## 【ステージ】

\*Bloomberg L.P.：ライブ、演奏/\*劇団  
Lite：忍者ショー/\*広尾高校ダンス部：  
創作ダンス/\*代々木ハレルヤ：ゴスペル

## 【協賛品】

\*モルガン・スタンレー・グループ  
\*日本KFCホールディングス株式会社  
(そうき あゆみ)



【ステージにあがって皆で合唱!】

## おかし屋ぱれっと 工房ぱれっと

あたら とうじょう  
～新しいパッケージが登場～

この度工房ぱれっとの人気商品である、通所員のイラストを使ったマグネットセットのパッケージ台紙が新しくなりました。「ファミリーマグネット」(写真左)は5人の家族の間にそれぞれの関係性を表す矢印が描かれ、想像を膨らませてクスッと笑えるものになりました。発声している口の形がドン!と描かれた「あいうえおマグネット」(写真右)は、マグネットの背景に顔を切り絵で表現し、まるで飛び出さだまし絵のような仕上がりになりました。これらはギフトにもおすすめです!ぜひ実物を見にきてくださいね。(たまい)



拡大図: ひょうきんな「い」の顔。マグネットセットは各¥600で販売中!

## えびす・ぱれっとホーム

～オーダーメイド～

ある日、松川久仁子さんの職場の同僚がアームカバーをしているのをみて「私も自分のアームカバーがほしい」と帰寮後話していました。工房ぱれっとに相談してみよう!ということになりお願いしてみたところ、快く引き受けてくれました。本人が工房に伺って寸法を計ってもらい、生地をスタッフと一緒に選びました。製作はミシンがけが上手な榊川里穂さんが担当してくれることに。ひと月程して松川さんのもとにアームカバーが届き、松川さんの「かわいい!!」という声がホームのリビングに響きわたりました。後日、松川さんが毎日職場で気に入って使っていることを榊川さんに伝えると、少し恥ずかしそうにしながらも嬉しそうな笑顔を見せていました。(ないとう)

## ぱれっとインターナショナル・ジャパン

～ラオスから  
研修生が来ます!～

今年の10月16日～11月6日までラオスからの研修生2名(日本人1名、ラオス人1名)を受け入れます。現地日本人スタッフの研修生、斉藤さんからのメッセージです。「当会はラオスで就労支援の一環として、身体障害のある方たちと製菓工房を運営しています。そして、ラオスではいまだ手つかずの知的障害のある方への就労支援にチャレンジしたいと考えています。今回の研修では、当事者の方への支援の仕方、家族の方との関係の持ち方、スタッフの知的障害スタッフへの理解促進方法を学びたいと考えています。また、組織の理念が現場でどのように実践され、ステークホルダーへの説明、関係構築を経て、新たな支援に繋がっていくのか、学びたいと考えています。よろしく願いいたします。」(たにぐち)